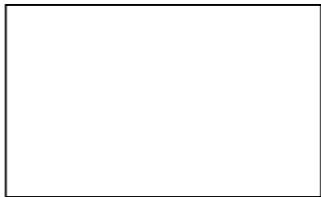


受験番号		氏名	
------	--	----	--

(算数) 解答用紙



1	(1)	$\frac{3}{5}$	2	(1)	4 通り	
	(2)	$\frac{3}{4}$		(2)	17 通り	
	(3)	3000	3	(1)	蛇口① 每分 1.2 L	
	(4)	4		(1)	蛇口② 每分 2 L	
	(5)	75		(2)	ア 5 分 0 秒	
	(6)	ア 75.36		(2)	イ 7 分 30 秒	
	(6)	イ 169.56		(2)	ウ 22 分 30 秒	
	(7)	ウ ⑧	4	(1)	180 cm^3	
	(7)	エ 14		(2)	180 cm^2	

5

(1)	80 人
-----	------

【解答例】

④号車に乗る人の番号は6で割ると4余る数で、その中で光るのは
4, 16, 28, …で、12で割ると4余る数である。

⑤号車に乗る人の番号は6で割ると5余る数で、その中で光るのは
5, 35, 65, 95で、30で割ると5余る数である。

(2)
最初にどちらも光るのは4, 5番のときで、
そこから12と30の最小公倍数の60を加えた番号のときに再び同時に光る。
つまり、同時に光るのは 64番と65番である。

答え 4番と5番, 64番と65番

【解答例】

①, ②, ③, ⑥号車は人が乗っていれば常に光る。
光る回数が一番少ないのは⑤号車なので、5号車が光る番号の付近で考える。

- ・5番あたりでは、6番～9番が乗るときに4分間光る。
 - ・35番あたりでは、40番が乗るときに1分間光る。
 - ・65番あたりでは、65番～69番が乗るときに5分間光る。
 - ・95番あたりでは、100番が乗るときに1分間光る。
- したがって、 $4 + 1 + 5 + 1 = 11$ (分間) となる。

答え 11 分間